

しかはま自然観察会

のらえもん

『人も 自然も みんなともだち!』No. 14

代表責任者

古高 利男

☎270-1132

我孫子市湖北台 2-14-7

☎090-7275-9890

2013, 12, 7 (土)

第14回活動「バードウォッチングと冬の生き物」

「サケの受精卵の配布」

- ・・・どんな冬鳥がきているだろう？
- ・・・冬でも、昆虫がいるのかな？咲いている花はあるのかな？

1, 日 時：2013年12月7日（土）午後2：00～4：00

2, 天 気：暖かな、小春日和！

3, 場 所：都市農業公園、新芝川、荒川の土手

4, 参加者：家族15 内訳 大人 15

小学生 13

幼 児 3

合 計 31

スタッフ3 総計34

5、活動の様子

○バードウォッチング

* 観察できた鳥：オオバン6、ヒドリガモ14、コガモ4、ハクセキレイ2
ユリカモメ1、(ここまでが、冬鳥)

(ここからは、留鳥) ハシブトガラス10、ヒヨドリ、
ムクドリ、スズメ、シジュウカラ、ドバト

* 会員のたくさんの方々が双眼鏡を持ってきていました。小春日和の中を、
ゆっくり静かに観察できました。

* 双眼鏡の使い方にどんどん慣れるといいですね。

* バードウォッチングの機会を増やし、野鳥に対する興味を盛り上げたいと
思いました。

* ドバトは、土手の草むらに首を突っ込んでエサを食べていて、近くに寄っ
ても逃げませんでした。

昔は「平和」の象徴でしたが、今では「害鳥」のイメージが強くなりました。
それは、駅やお寺・公園で糞をして、まわりを汚すとともに、糞の中
に病原菌がふくまれているといわれるようになったからです。

* まとめるとき、カラスが頭上で鳴き、のらえもんのみんなを応援している
ようでした。

○見つけた昆虫

* 赤トンボ・・・山口大地くん発見！

* トノサマバッタ・・・稲村大河くん発見！

冬でも、いるんですね～！

○ 野菜畑には・・・

- * カリフラワー (ブロッコリーを改良したもの)
- * ブロッコリー (ヨーロッパ原産)
- * 白菜 (中国北部原産、氷点下にも耐える強さがある)
- * 山東菜 (中国山東省の原産、結球せず漬け物にします)
- * ネギ (中国西部原産)
- * タマネギ (西アジア原産、古代から食べられている)
- * ニラ (インド・中国原産、スタミナ野菜)
- * 大根 (地中海沿岸原産、1年中栽培、冷涼な気候を好む)
- * ほうれん草 (西アジアの寒冷地が原産、暑さには弱い)
- * キャベツ (西ヨーロッパ原産、暑さに弱い、ミネラルが豊富)
- * チンゲンサイ (中国原産、日本で改良、ミネラルが豊富)
- * キョウナ (水菜) (京都で栽培、関西では水の流れの中で栽培)
- * シュンギク (寒さには強い方、鍋料理やごまあい)
- * 小松菜 (西アジア原産、江戸川区のものが有名、寒さに強い)

○ 古民家には・・・

江戸時代後期の農家の様子を表しています。生活の原点を、ここで見ることが出来ます。キャンプのときは、今でもこのような生活スタイルになっています。

- * 綿(わた)の白い花
フトンや下着は、この白い繊維から作られています。

○ サケの受精卵の配布

- * のらえもん会員のこどもたちには、一人10個を配布し、観察しながら育ててもらうことにしました。
- * その他の配布学校
鹿浜こども園、いりや第二保育園、おおやたこども園、チェリー幼稚園
北鹿浜小、上沼田小、本木小、高野小、栗原北小、千寿小、根津小
- * 積算温度は、320℃でした。
- * 茨城県久慈川に登ってきたサケの受精卵です。以前は、福島県木戸川のものでしたが、原発事故の放射能の影響で孵化事業は中止しています。
- * 3月1(土)午後2:00から、新芝川で放流の予定です。

○ 生き物ビンゴ

観察会を終えて、いつもの藤棚の下に戻ってきました。観察会のふり返しとして、全体で「生き物ビンゴ」をしました。9このマスに、自分が気付いた言葉を入れていきます。その言葉を、一人一人が順番に発表していきます。子どもたちの感性は、とても鋭いものがあります。しっかり観察したことを書いてくれました。ある子はビンゴのマスをこんな風にうめてくれました。
・・・オオバン・・・ヒドリガモ・・・かわう・・・コガモ・・・カリフラワー・・・ブロッコリー・・・あお虫・・・とんぼ・・・わたの木
もう一人の子は、こんな言葉を入れてくれました。
・・・もみじ・・・かわう・・・すずめ・・・あおむし・・・だいこん・・・
ばった・・・こがも・・・白せきれい・・・

6, 親と子の、いきいき感想

- とりさん、たのしかった。さけ、だいじにするよ。 年長組
- シャケが、しばらくすると、かえることがうれしいです。たいせつにかいたいです。
たかさごが さくらとして おどろいた 上沼田小1年
- サケ(のたまごを)10こもらったので、よかったです。
サケたまご 早く大きく なってほしい 上沼田小2年
- サケの赤ちゃんをもらうのは4回目だけど、毎年成功したりしなかったりだから、サケの赤ちゃんはむずかしいと思いました。でも、育てたりするのが楽しみです。
バードウォッチングは、たくさん見れて、楽しかったです。
4回目 だけど心は ドッキドキ 新田小4年
- 鳥の観察、もう少し、たくさんいたら楽しかったかもしれません。まだ、少しあたたかかったかなと思います。のんびり散策も、いいものでした。
鳥の声 何の声かな 渡り鳥 鹿浜小2年 梅北 玲奈さんのお父さん
- 今日は、暖かかったので、いろいろなしゅるいの野鳥が見られたのでよかったです。
はじめます サケのたまごの かんさつを
わたしの木 種をそだてて みましょうか? 鹿浜西小
- 今日のかんさつ会で、バードウォッチングや虫さがしをして、いろいろないきもののかんさつして、たのしかったです。その中でも、鳥をしゃしんでとったことが、たのしかったです。
あらかわの 鳥や虫たち たくさんだ
冬のとり たくさんいたよ とびたつた 鹿浜第一小3年
- * カワウやカモメ・シジュウカラ、色々な鳥が見られました
もっと名前がわかれば、楽しめそうです。
荒川で 「のらえもんサケ」 出会いたい 母
- 今日、カモやスズメやカラスを見たりして、楽しかったです。やさいは、ねぎやハクサイを見て、やさいのしゅるいがわかりました。
あらかわで いろんな鳥を 見たんだよ 鹿浜第一小3年
- 鳥がいっぱいいた。綿がやわらかかった。サケをふかさせたい。
白いわた すごくやわらか 気持ち良い 扇小5年
- シャケのたまごをもらって、うれしかった。そだったら、げんきにいてほしい。
バッタはね あしでならずよ じえじえじえじえ 北鹿浜小1年
- オオバンは、はなのところが白かったです。スズメが、木にとまっています。ヒドリガモは、かおがちゃいろです。
ヒドリガモ かおはちゃいろ びっくりだ 北鹿浜小2年
- いろんな鳥を見たりして、たのしかったです。
鳥みたり サケをもらって うれしいな 北鹿浜小2年
- たのしかった。 年長

サケの育て方

生命の育ち方を、家族そろってしっかり目で確かめてみましょう。

- 大き目の水槽を用意します。ポンプもつけてください。
- 水底には石を入れましょう。(道ばたにある石を洗ったもので十分です)
- 水草があるといいですね。
- 家で一番寒い所へ置いてください。(太陽には当てない)
- 卵は紫外線をきらいます。暗めにしておくとそだちがいいようです。
- 水温を測ります。ノートに記録しておきます。
- その毎日の温度を計算しておく(積算温度)、サケのふ化の時期や餌を食べ始める時期を推測できます。
- 水は1週間に1回、半分だけ取り替えましょう。
- 観察ノートを用意します。変化のあったときには記録しておきましょう。変化を見つけたときには、家族みんなに伝えてあげるといいです。
- デジカメで写真をとっておくといいですね。
- 死んだ卵は別の容器に入れて、どのように変化するか観察してみましょう。
- ふ化して、腹の黄身がなくなり、上の方に泳ぎ出したらエサを与えます。めだか用の餌で十分です。
- 放流は、3月上旬を予定しています。都市農業公園の近くの荒川か新芝川です。
4年後に、群れをなして登ってくるサケに期待したいですね。

= 積算温度 =

積算温度とは、毎日の水温をたしていった累計です。

水温10℃で10日間飼育した卵は、積算温度100℃となります。

積算温度	卵の様子
10℃	受精する
240℃	黒い眼が目立ち始める。
320℃	黒い眼が、キョロンと動く。体全体がわかるようになる。 この頃の受精卵を配布しています。
480℃	孵化する。卵の膜を破って、頭から飛び出してくる。
720℃	お腹の黄身がなくなり、上の方を泳ぎ出す。
900℃	黄身が完全になくなり、元気に泳ぐ。エサを食べ始める。
1200℃	体長3~5センチ、0.8~1グラムになり、 サケらしい姿になる。
3月上旬	放流のために、荒川か新芝川へいきます。